

## 第1学年国語科学習指導案

### 1 単元名 映像で読む、情景描写

「飛べかもめ」 (新しい国語1 東京書籍)

「さんちき」 (新しい国語1 東京書籍)

「透明人間」 (スタジオポノック)

### 2 単元について

「飛べかもめ」では、少年の心情の変化を様々な工夫を用いて描いているが、特に注目したいのが「情景描写」である。冬の曇天から雨上がりの虹へと風景が移り変わる様子は少年の心情の変化と見事にリンクしていくことを捉えさせたい。また、「さんちき」で特徴的なのは「題名」や「場面」の効果だと考えられる。題名となっている「さんちき」にはどういった効果があるのか、侍が登場する場面には何の意味があるのかを考えさせたい。学習後の活用教材として「透明人間」という映像作品を用いる。透明人間はセリフがかなり少なく、物語としての「空所」が多い。またその空所を考える手がかりとして、「情景描写」や「比喩表現」が効果的に使われている。場面ごとに疑問を出し合い、そこから学習課題を設定していく探究的な授業にすることで、描写を参考に多様な読みが期待できる作品である。また、その奇抜な設定から生徒の興味関心を刺激することや情景描写や比喩表現を視覚的に理解することも期待できる。

「飛べかもめ」「さんちき」と単元化することによって、生徒が習得・活用の重要性や楽しさを実感できる教材である。本単元では、学習指導要領の〔知識及び技能〕における「(1)ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。」及び〔思考力、判断力、表現力等〕における「C 読むこと」の「イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えること。」を重点指導事項として指導する。

### 3 単元の目標

- ・様子を表す語句の量を増やし、文章中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【知識及び技能】
- ・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、情景や場面の効果、題名などの描写を基に捉えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・情景描写や比喩表現などについて進んで自分の意見を考え、学習課題に沿って、心情などをまとめようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・様子を表す語句の量を増やし、文章中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)ウ	・場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、情景や場面の効果などの描写を基に捉えている。 C(1)イ	・情景描写や比喩表現などについて進んで自分の意見を考え、心情などをまとめている。

## 5 単元の学習指導計画(全8時間)

- (1) 「飛べかもめ」で少年の気持ちの変化から情景描写について考える。(習得) 2時間  
 (2) 「さんちき」で疑問に思う点を出し合い全員で解消する。 1時間  
 (3) 侍の場面が必要か考え、場面の効果について考える。(習得) 1時間  
 (4) 題名に着目し、題名の効果について考える。(習得) 1時間  
 (5) 「透明人間」で疑問を出し合い、学習課題を決定する。(活用) 1時間  
 (6) 映画を何回も見返しながら場面の効果や作品の表現の工夫などについて語り合う。  
 (活用) 2時間(本時2/2時間)

## 6 本時の学習指導

### (1) 目標

- ・作中の色が様々な意味合いを持つことに気づき、比喩や情景に関連させて考えることができる。

### (2) 学習指導過程

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援
1 学習課題を確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <b>【学習課題】</b> この作品において、赤と青は何を表しているか。                 </div>		
2 作品を何度も見返し、作品に現れる赤い物と青い物をそれぞれ整理する。	<b>【赤い物】</b> ・ダンベル ・消火器 ・バケツ ・ベビーカー ・鼻血 ・赤ちゃん  <b>【青い物】</b> ・青いバケツ ・青い風景 ・雨 ・青リンゴパン	・ICT機器を使い、気になった場面を何度も見返せるようにする。
3 それぞれの場面や透明人間の心情から、赤と青それぞれの共通点を考える。	・赤い物は透明人間が地上にいるために持っていた物が多い。透明人間の「生」を表しているのはいか。 ・青い物は透明人間が落ち込んでいる描写で良く登場している。赤い物の反対と考えると「死」を表しているのか。	・「紫の雷」の場面の意味を考えさせることで、透明人間の心情や状況と「赤」「青」それぞれの色が関係していることに気づかせる。
4 本時の振り返りをする。	・「赤」や「青」が「生」や「死」を表している比喩ということに気づけた。特に青は景色にも登場していて、情景描写と深く関わっているように思う。	・前時までに見つけた、情景描写と今回の学びを結びつけて振り返るように指導する。

### (3) 評価

- ・作中の赤や青がもつ意味を理解し、比喩や情景描写とつなげて考えられたか。(観察、ノート)